

## 第12回 イエスの本当の家族

(3:20~35)

### 《アウトライン》

1. イエスと家族 その1 (3:20-21)
2. ベルゼブル論争 (3:22-30)
  - a. 指導者たちの判断 (3:22)
  - b. 判断が誤っていることへの指摘 (3:23-27)
  - c. メシアを拒否することへの警告 (3:28-30)
3. イエスと家族 その2 (3:31-35)

《結論》 「本当の家族」の教えから、励ましと慰めを得る。

---

### 《聖書研究メモ》

#### 3:22 「ベルゼブル」

- ・ 古代ユダヤ教でサタンにつけられていた様々な名前のひとつ。
- ・ カナン人の偶像「バアル・ゼブル」(王宮の主)のギリシャ語読みか。

#### 3:24, 25 国の分裂と家の分裂のたとえ

- ・ イエス時代から約1,000年前、イスラエルは南北に分裂した結果、どちらも滅んでしまった。
- ・ イエスから直近の時代でも、王朝内の分裂でイスラエルがローマに支配されてしまう事件があった。  
紀元前2世紀から1世紀の前半にかけて、イスラエルはユダヤ人の祭司階級からなるハスモン王朝によって独立を実現していた。しかし、紀元前1世紀の半ば、ハスモン王朝の中でヒルカノスとアリストブロスという兄弟が、大祭司の地位を巡って争った。大祭司になる者が王朝の実権を握るからだ。しかし、この争いの結果、ローマ帝国が介入してしまった。  
ローマは、内部崩壊したハスモン王朝に代わって、イドマヤの王アンティパル2世をユダヤの総督に任命した。後には、アンティパル2世の息子であるヘロデ大王がイスラエルの王になった。ヘロデの死後、ユダヤはローマ帝国そのものに支配されるようになってしまった。

#### 3:27 「まず強い者を縛り上げなければ、だれも、強い者の家に入って、家財を略奪することはできません。」

- ・ 背景：イザヤ書 49:24, 25  
奪われた物を勇士から取り戻せるだろうか。捕らわれ人を横暴な者から救い出せるだろうか。まことに、【主】はこう言われる。「捕らわれ人は勇士から取り戻され、奪われた物も横暴な者から奪い返される。あなたが争う者と、このわたしが争い、あなたの子らを、このわたしが救う。」

#### 3:29 聖霊を冒瀆する罪=永遠の罪

- ・ イエスが神ではなく、悪魔によって力を与えられているという判断を下すこと (3:30 参照)。
- ・ イエスが実際に来られたこの時代に、ユダヤ人たちがイエスをメシアとして拒否すること。
- ・ イスラエルの指導者たちは、神の王国を提供するために来た王=メシアを拒絶した。その結果、神の王国の完全な実現は、目の前に近づいているとは言えなくなった。
- ・ イスラエルは、「回帰不能点」を越えてしまった。